

令和5年度1学期始業式の挨拶

始業式にあたり、中国に伝わる話を紹介します。

1月1日を元旦といいますね。新年の始まり始業式です。1年の始まり1月1日を元旦といいますから、まさに今日は邇摩高生 みなさんにとって元旦といえる日だと思います。

1年の計は元旦にありという言葉聞いたことがありますか。

最初にきちんとした計画を立てるのが大切だという意味です。

1日の計は朝にありといいます。

1日が始まる朝にその日の計画をたてる、朝の過ごし方が大事ということをいっています。

そして、一生の計は少壮の時にありといいます。

この少壮の時のあり方や過ごし方が一生を決める重要な期間になることをいっています。

少壮の時とは15歳から20歳くらいの期間をいいます。

皆さんが過ごす邇摩高校での期間が、まさに少壮の時になります。

この期間にしっかりと頭や心、体を鍛えること。そして自分の将来を考えて計画をたて準備していくことが重要だと思います。

将来を見据え、今年目標をたて準備を進めてください。

みなさんにとって、実り多き一年になることを期待して始業式あいさつとします。